

企画展 猪熊弦一郎展 ホノルル

“アメリカに又第一歩” ハワイ時代の画業を紹介



猪熊弦一郎《広場の中の言葉》1984年
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵
©公益財団法人ミモカ美術振興財団

展覧会名	猪熊弦一郎展 ホノルル
会期	2024年3月23日(土)ー6月2日(日)
休館日	月曜日(ただし4月29日、5月6日は開館)、4月30日(火)、5月7日(火)
会場	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 3階展示室C、1階エントランス

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 / 公益財団法人ミモカ美術振興財団

担当キュレーター：竹崎瑞季 広報担当：奥本末世、佐伯美帆

〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1

TEL 0877-24-7755 FAX 0877-24-7766

E-MAIL press@mimoca.jp URL www.mimoca.org

—— 開催趣旨

“別天地ハワイには其日朝当着 うその如く青空 まつたく別の天地である”*

1973年に患った脳血栓をきっかけに、20年に及ぶニューヨークでの活動に区切りをつけることとなった猪熊弦一郎(1902-1993)。翌年、降り立ったハワイの青空に勇気づけられ、「アメリカに又第一歩始まる。」*と再出発を決意します。

その後ホノルルにアトリエを構えると、1976年には現地で見えた虹にインスピレーションを得た絵画を完成させます。以降、ハワイの自然からの影響や宇宙への関心がうかがえる鮮やかな絵画の数々を生み出しました。

高層ビルが並ぶニューヨークから自然豊かなハワイへ。新たな環境に支えられながら、より自由に、自ら描くべきものを追求した猪熊のハワイ時代の表現をご紹介します。

* 猪熊弦一郎の日記より(1974年7月20日)。原文ママ。



猪熊弦一郎《Rainbow Z》1976年 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵
©公益財団法人ミモカ美術振興財団

見どころ

“Rainbow State”で生まれた表現

ハワイは別名“Rainbow State”とも呼ばれるほど、虹が多く現れることで知られています。猪熊もまたハワイに拠点を移した後、現地で見えた虹にインスピレーションを得た絵画を1976年に完成させました。それらはニューヨーク時代の幾何学的な画面構成を引き継ぎつつ、その後の展開を予期させる表現にもなっています。本展では、新たな環境がもたらした変化を起点に、猪熊のハワイ時代の表現を展覧します。



猪熊由来の写真資料 ホノルルの虹（1987年）
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵 ©公益財団法人ミモカ美術振興財団

ポストコロナを勇気づける絵画

突然の病によりニューヨークでの生活に区切りをつけることとなった猪熊が、現地のアトリエを片づけるために飛行機でニューヨークに向かう途中、ハワイに降り立ち「アメリカに又第一歩」と誓ったのは、今からちょうど半世紀前の1974年でした。当時70歳を過ぎていた猪熊が、大きな病を乗り越え、再出発する中で生み出した鮮やかでエネルギーに満ちた絵画の数々は、ポストコロナに生きる私たちに勇気づけてくれるでしょう。



猪熊弦一郎《No.1 星からの手紙(ラブ)》1983年
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵 ©公益財団法人ミモカ美術振興財団

アトリエの写真なども紹介

猪熊が制作活動の拠点としたハワイのアトリエでは、ホノルルの街並みや広場に生い茂るヤシの木、山などの風景を窓から眺めることができました。本展では、猪熊の制作活動を知る手がかりとして、現地で見えた虹や生命力に溢れる植物などを捉えた写真資料もご紹介します。

—— 出品作家プロフィール

猪熊弦一郎(いのくまげんいちろう)

1902年、香川県高松市に生まれ、旧制丸亀中学校(現丸亀高校)卒業。その後上京し、東京美術学校(現東京藝術大学)に進学、藤島武二教室で学ぶ。1938-40年、パリに遊学、アンリ・マティスに学ぶ。戦後は、三越包装紙「華ひらく」のデザインや、国鉄上野駅(現JR上野駅)の壁画《自由》を手がけた。1955年にニューヨークに渡り、以降約20年間、同地を制作の拠点とする。1975年からは東京とハワイで制作を続けた。1991年、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館開館。1993年、90歳で死去。



撮影：高橋章

展示構成・出品作品

本展でご紹介する内容や出品作品の一例です。

※展示構成や出品作品は一部変更となる可能性があります。

ニューヨークからハワイへ

約20年間を過ごした都市ニューヨークから、豊かな自然に囲まれたハワイへ。本展は制作環境を移したことをきっかけとする猪熊の表現の変化に着目します。



猪熊由来の写真資料 ホノルルのアトリエ(1985年)
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵
©公益財団法人ミモカ美術振興財団

虹-ハワイでの再出発

猪熊がハワイで見た虹にインスピレーションを得て描いたと考えられる1976年の作品や、現地の風景やアトリエなどを撮影した写真資料などをあわせてご紹介します。



猪熊弦一郎《Rainbow Z1》1976年
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵
©公益財団法人ミモカ美術振興財団

宇宙空間への関心

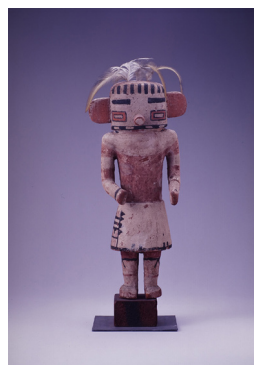
ハワイでは、重力から解放されたかのような浮遊感のある画面構成や、作品名に「星」や「星座」といった言葉が用いられるなど、宇宙空間への強い関心がうかがえる作品が描かれました。



猪熊弦一郎《宇宙は機械の運動場 No.2》
1981年
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵
©公益財団法人ミモカ美術振興財団

『アリゾナとカチナドール』

1982年に刊行された『アリゾナとカチナドール』（求龍堂）は、猪熊が1955年の渡米後に初めて訪れたアリゾナ砂漠を思い出しながら描いたスケッチを掲載した画集です。本展ではその原画の一部を、猪熊が所蔵していたカチナドールとともに展示します。



猪熊弦一郎のコレクションより カチナドール
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵
撮影：高橋章

有機的形態

1980年代半ばには、ヤシの木のシルエットや、植物の芽を彷彿させるモチーフが画面に登場します。はっきりとした輪郭線でそれらのモチーフが描かれ、強い生命力を感じさせる絵画が生まれました。



猪熊弦一郎《発芽時代》1985年
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵
©公益財団法人ミモカ美術振興財団

開催概要

展覧会名	猪熊弦一郎展 ホノルル
主催	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
会場	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 3階展示室C、1階エントランス
会期	2024年3月23日(土)～6月2日(日)
開館時間	10:00～18:00(入館は17:30まで)
休館日	月曜日(ただし4月29日、5月6日は開館)、4月30日(火)、5月7日(火)
観覧料	一般：950円(760円) 大学生：650円(520円) 高校生以下または18歳未満・丸亀市在住の65歳以上・各種障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 *同時開催常設展「猪熊弦一郎展(仮称)」観覧料を含む *()内は前売り及び20名以上の団体料金

同時開催

常設展「猪熊弦一郎展(仮称)」

【観覧料】一般：300円(240円)、大学生：200円(160円)

※企画展の観覧料は別途

前売券情報

楽天チケット <https://leisure.tstar.jp/event/rlikggm/>

【販売場所(丸亀)】

あーとらんどギャラリー：0877-24-0927

オークラホテル丸亀：0877-23-2222

おみやげ SHOP ミュー：0877-22-2400

—— プレス向け内覧会

本展開催に先立ち、3月22日(金)にプレス向け内覧会を実施いたします。
詳細は改めてリリースにてお知らせいたします。

—— 関連プログラム

キュレーターズ・トーク

概要：本展担当キュレーター(竹崎瑞季)が展覧会をご案内いたします。

日時：2024年4月7日(日)、5月5日(日)、6月2日(日) 各日14:00-

参加料：無料(別途、本展観覧券が必要です)

申込不要。3階展示室入口前にお集まりください。

親子でMIMOCAの日

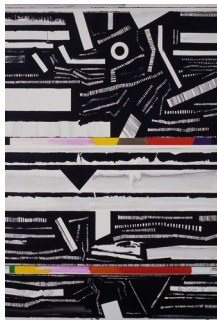
概要：高校生以下または18歳未満の観覧者1名につき、同伴者2名まで観覧無料となります。

日時：2024年4月20日(土)、21日(日) 各日10:00-18:00

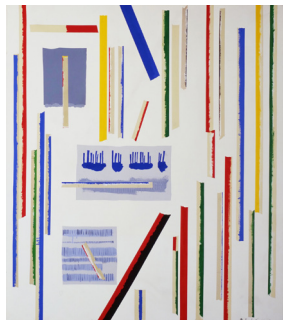
※その他のプログラムは詳細が決まり次第、当館WEBサイトなどでお知らせいたします。

— 広報用画像

1



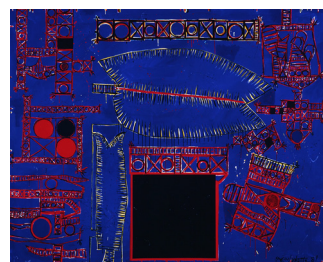
2



3



4



5



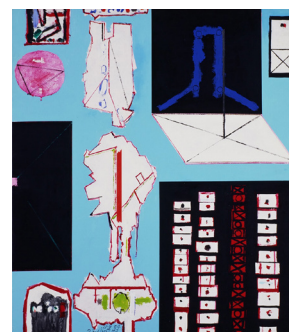
6



7



8



9



10



11



12



1 猪熊弦一郎《Rainbow Z1》1976年

2 猪熊弦一郎《Rainbow Z》1976年

3 猪熊弦一郎《青の角》1977年

4 猪熊弦一郎《宇宙は機械の運動場No.2》1981年

5 猪熊弦一郎《No.1 星からの手紙(ラブ)》1983年

6 猪熊弦一郎《星座からの返信》1983年

7 猪熊弦一郎《広場の中の言葉》1984年

8 猪熊弦一郎《アリゾナ通信》1984年

9 猪熊弦一郎《発芽時代》1985年

10 猪熊弦一郎のコレクションより カチナドール

11 猪熊弦一郎由来の写真資料より ホノルルの虹 (1987年)

12 猪熊弦一郎由来の写真資料より ホノルルのアトリエ (1985年)

クレジット 1-9、11-12：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵 ©公益財団法人ミモカ美術振興財団

10：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵 撮影：高橋章

画像のお申し込み
フォーム

ご希望の方はお申し込み下さい。
<https://www.mimoca.org/ja/press/>

